

部会	地区	中 通 り 地 区	会 津 地 区	浜 地 区
水 産				富 永 正(小名浜水産) 塩 田 諭 (指導課)
家 庭		渡 辺 哲 男 (福 大) 佐 藤 貞 子 (指導課)	岡 村 益 (福 大) 佐 藤 貞 子 (指導課)	岡 村 益 (福 大) 佐 藤 貞 子 (指導課)

第4節 学力向上対策

県教育委員会は、学力の向上を数年来の重点努力目標とし、遂年教育諸条件の改善整備と教職員の資質の向上をはかる諸施策の実施に努めてきた。また、学力の向上をはかるモデル校として、小・中学校については昭和38年度より学力向上推進校を指定し、高等学校については研究学校を指定して、その研究資料を各学校に普及活用させることにも努めてきた。

本年度は、福島県教育委員会努力目標の第一に、「教職員の研修態勢を確立してその資質の向上をはかり、児童生徒の学力の向上につとめる。」ことをあげ、重要な課題である「児童生徒の学力の向上」を、「教職員の研修態勢を確立してその資質の向上をはかる」という具体的な方法によってその目標達成に努めてきた。このような努力の結果、昭和40年6月に実施された文部省学力調査において、特に小学校の成績は全国中位躍進することができたのではあるが、こんごも、じゅう分施策をねり、学力向上を重点努力目標として強力に推進したい。

本年度において、教職員の資質向上のためにとられたおもな施策は、下記の通りである。

1 小学校・中学校学習指導法講習会の開催

(1) 目 的

小学校および中学校における比較的教職経験の少ない教員や、従来、現職教育を受ける機会の少なかった教員に対し、学習指導法改善のための講習を実施し授業の充実に資する。

(2) 主 催

福島県教育委員会

(3) 期 間

2日間

(4) 期 日 ・ 会 場

地区	管 内	期 日	会 場
北 郡	信 夫	5月25日～26日	{ 福島市立第一小 福島市立岳陽中
	伊 達	5月26日～27日	{ 保原町立保原小 保原町立保原中
	安 達	5月27日～28日	{ 安達町立油井小 安達町立安達中
南 郡	郡 山	5月25日～26日	郡山市立橘小
	岩 瀬	5月26日～27日	須賀川市立須賀川第一小
	西白河	5月25日～26日	{ 白河市立白河第一小 白河市立白河中央中
	東白川	5月26日～27日	{ 棚倉町立棚倉小 棚倉町立棚倉中
	石 川	5月27日～28日	{ 石川町立石川小 石川町立石川中

地区	管 内	期 日	会 場
県南	田 村	5月27日～28日	船引町立船引中
会 津	南会津	{ 5月18日～19日 5月19日～20日	産業研修所 南郷村立南郷小 会津若松市立鶴城小 { 喜多方市立喜多方第二小 喜多方市立喜多方第一小 会津坂下町立第一中
	北会津	5月27日～28日	
	耶 麻	5月25日～26日	
	両 沼	5月26日～27日	
浜	石 城	{ 5月18日～19日 5月19日～20日	{ 平市立平第三小 勿来市立錦小 富岡町立富岡第一小 富岡町立富岡第一中 原町市立原町第二小 原町市立原町第一中
	双 葉	5月18日～19日	
	相 馬	5月19日～20日	

(5) おもな講習内容

- ① 授業充実の着眼点と現職教育
- ② 教材研究の進めかた
- ③ 望ましい学習指導法の組織化
- ④ 学習の評価
- ⑤ その他地域の実態に即した問題点
(複式学級の指導法)

(6) 主なる反省事項

- ① 講習内容が的確で、かつ、地域の実情に即して編成されたので講習事項の徹底をはかることができた。
- ② 年度頭初に実施したことは、その後の実践に役立てることができ効果的であった。
- ③ 内容として、授業研究、複式授業の進め方等がくみこまれたことはよかった。
- ④ 資料となる中心テキストおよび講習要領が準備されたことはよかった。
- ⑤ 参加者は事前研究を行なうなど、きわめて熱心であった。
- ⑥ 管内によっては、教職経験の少ない教員の範囲を拡大し、中堅教員の参集を求める必要があった。

2 高等学校学習指導法講習会

(1) 目 的

高等学校における現職教育の推進を図るため、各学校の教科主任、科長、実習主任等に対し、学習指導法についての講習会を実施し、授業の充実に資する。

(2) 主 催

福島県教育委員会

(3) 期 間

2日間

2日間